

# 親潮

第320号  
令和4年度 第2号

OYASHIO

北水同窓会誌

2022  
320  
No.2

北水同窓会のEメールアドレスです

[hokusuialumni@gmail.com](mailto:hokusuialumni@gmail.com)

ホームページアドレスです

<http://hokusui.net>



## 特集 北水の今

特集① 練習船うしお丸Ⅲ世竣工、運用開始

特集② 水産科学未来人材育成館 新築概要

次回総会案内  会員の受賞  ホームカミングデー報告  定期総会報告  支部会・クラス会報告  追悼 ほか

# 親潮

第 320 号  
令和 4 年度 第 2 号  
OYASHIO

## CONTENTS

同窓会定期総会案内	3
愛知県支部 新人歓迎会案内	4
<b>特集 北水の今</b>	
<b>特集① 練習船うしお丸Ⅲ世竣工、運用開始</b>	5
高津 哲也(昭63年) / 向井 徹(昭61年) / 小林 直人(平3年)	
<b>特集② 水産科学未来人材育成館 新築概要</b>	10
澤辺 智雄(平元食)	
<b>会員の受賞</b>	16
平田 芳明氏(昭49食) / 齊藤 誠一氏(昭50年) / 酒井 隆一氏(特)	
<b>北海道大学ホームカミングデー 2022 水産学部卒業生・在校生のつどい</b>	19
<b>定期総会報告</b>	21
<b>支部会・クラス会報告</b>	26
北水同窓会大阪府支部 令和4年度総会報告 北水同窓会 広島県支部会 2022 報告 北水同窓会宮城県支部令和4年度総会	
<b>追悼</b>	28
高野 和則氏(昭32年)	
<b>学位取得者</b>	29
<b>会員の異動</b>	29
<b>会員死亡通知</b>	29
<b>親潮投稿規定・編集後記</b>	30

### 親潮320

#### 表紙写真の説明

新造成ったうしお丸Ⅲ世  
(詳細は特集①をご覧ください)



# 第101回(2023年)北水同窓会 定期総会

[札幌キャンパスで北大ホーム・カミングデー(HCD)と同日開催]

**開催案内** OG・OBの皆様とごご同伴者、在学生・教職員の皆様、同期や先輩・後輩の皆様とお誘いあわせの上、多数のご参加をお待ちしております。

日 時 ● 2023年9月30日(土) ※新型コロナウイルスのまん延が予想される場合、2023年8月4日(金)までに中止またはオンライン開催のみに変更をご連絡させていただく場合がございますこと、ご了承ください。

## 第1部

### 北海道大学学術交流会館およびオンライン中継

札幌市北区北8条西5丁目(正門より入って左側2棟目・JR札幌駅北口より徒歩10分、駐車場なし)

参加人数把握のため、なるべく参加申し込みをお願いいたします。

オンライン参加は必ずメールでお申し込み下さい。

受付	13:30~
水産学部・北水同窓会 HCD講演会	14:00~15:30(下記をご参照ください)
第101回 北水同窓会定期総会 北水同窓会札幌支部通常総会	15:30~17:00



## 第2部

### ANAクラウンプラザホテル札幌 札幌市中央区北3条西1丁目2番地9

JR「札幌駅」下車→東改札口を右へ出て札幌駅南口より徒歩7分  
駐車場3時間500円、以降30分毎200円、1泊2,000円(すべて税込)

受付 ● 17:30~ 懇親会 ● 18:00~20:00 会費 ● 未定



北海道大学  
ホームカミングデー2023



水産学部卒業生  
在校生のつどい



講演会 海洋調査の現場と「北水魂」～深海から、みらいまで～

講師 日本海洋事業株式会社 取締役運航事業部長 横田 哲也氏

日時 2023年9月30日(土) 14:00~15:30 会場 北海道大学学術交流会館

(参加申込不要、オンライン参加はメールでお申し込みください)

profile  
プロフィール

埼玉県立不動岡高校卒、北大水産学部入学。1998年北大水産学部漁業学科卒、1999年特設専攻科修了。2000年日本海洋事業入社、航海士として調査船業務に従事。その後、陸上勤務にて海務監督や海洋研究開発機構(JAMSTEC) 出向、日本サバイバルトレーニングセンター出向(国内初の総合洋上訓練施設設立上げ事業)、帰任後に海務部長を経て現在に至る。  
・国際調査船運航者会議(International Research Ship Operators' Meeting: IRSO)メンバー  
・一般社団法人水難学会常務委員(国際普及委員会)

連絡先:北水同窓会 本部事務局

FAXまたは郵送にてお申し込みの場合は、このページをコピーして送信用紙としてお使いください。

参加ご希望の方は、[お名前、卒業年度・学科、連絡先住所、Fax・電話番号、メールアドレス]を8月30日までに北水同窓会本部事務局まで郵送、FaxもしくはEメールでご連絡願います。

〒041-8611 函館市港町3丁目1番1号 北海道大学水産学内

電話(0138)42-3681 FAX(0138)42-3681 メールアドレス hokusualumni@gmail.com

〈北水同窓会本部事務局あて〉FAX 0138-42-3681

## 第101回 北水同窓会 定期総会 参加申込書 (1名毎に記載願います)

下記に記入し、郵送、FAXまたは同じ内容を8月30日までにE-mailにてご連絡願います

ふりがな	卒業年度	学 科
お名前	明・大・昭・平・令 年	
ご住所 〒( )		
電話 ( )	FAX ( )	
E-mail:		
参加申込欄 右記の□に✓をお願いします	( いずれかに✓ <input type="checkbox"/> 現地参加 <input type="checkbox"/> オンライン参加 )	<input type="checkbox"/> 懇親会
懇親会ご同伴者人数(同額の参加費がかかります)	( )名	<input type="checkbox"/> 参加しない

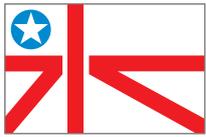
# 愛知から 速報

この春、ご卒業の皆様、おめでとうございます！  
下記の通り「新人歓迎会」を開催いたします。  
東海三県（愛知、岐阜、三重の各県）に  
ご就職予定の学生諸君、是非ともご来場下さい。

北水同窓会愛知県支部

ご卒業おめでとうございます

おいでなも！



## 新人歓迎会 2023

### 北水同窓会愛知県支部

会費は不要です 飛び入り参加もOK

- ◆日 時：令和5年5月13日(土) 18時より
- ◆場 所：熱烈的中華 四川菜園  
名古屋市中村区名駅3-15-8 名駅グルメプラザビル6F  
TEL 052-586-6888  
JR名古屋駅 桜通り口 を出て徒歩3～5分(大名古屋ビルディングの北)

連絡先

北水同窓会愛知県支部長

かね ぎき ひで かつ

兼 崎 英 勝 (昭和41年製造卒)

携帯電話番号 080-5165-2170

アドレス kane@katch.ne.jp



ぬくとい心の先輩たちが  
おもてなし致します



## 特集①

# 練習船うしお丸竣工披露式

高津 哲也(昭63ギ)



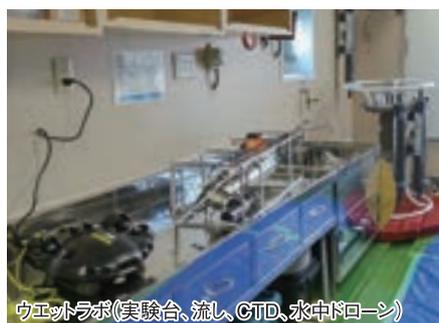
テープカット

令和4年11月4日(金)、函館市弁天埠頭と海洋センターで、練習船うしお丸III世の竣工披露式が行われました。コロナ禍の合間を縫っての開催であったため、限られた来賓しかお迎えできませんでした。式典はセンター内で13:00から始まり、寶金清博北海道大学総長からご挨拶として、「本船は東北以北の沿岸域で唯一実習ができる海上移動研究室で、少人数の実習生が繰り返し実践的な教育を受け、研究者としての素養を獲得し、水産分野で活躍する人材を輩出する役割を担っている」と紹介がありました。また池田貴城文部科学省高等教育局長(代読、奥井雅博課長補佐)からは、「う

しお丸は長年にわたり継続的な調査データを蓄積し、それらを関係各所に公開・提供してきたと聞いている。新船を活用して海洋人材の育成と海洋研究の一層の推進、地域振興にこれからも貢献して欲しい」と祝辞をいただきました。向井徹うしお丸代船建造小委員会委員長からは、「新うしお丸はII世179トンよりも大型化した262トンとなり、時化に強くなったが、沿岸域で必要となる小回りの利く操縦性能は維持され、新たに環境にやさしい省エネ性能を獲得しました。また多くの最新の機器類を装備し、音響機器類への影響を極力抑えた低騒音、低震動、気泡低減を実現、女性専用衛生区画



計測機器室後方



ウェットラボ(実験台、流し、CTD、水中ドローン)



学生教室兼食堂  
(16名が同時に食事を摂れるようになりました)

の新設など、最新鋭の設備となりました」と紹介があり、建造経過なども手短に報告されました。

13:30からは、センター前の弁天埠頭に移動してテープカットを行い、都木靖彰水産科学研究院長から「かつてクラーク博士が述べたロフティ・アンビション、高邁なる野心を実現し、海の魅力を広く伝える身近な練習船としたい」と、抱負が述べられました。その後来賓各位は数名に分かれて船内見学を行いました。なお、コロナ対策として、おしお丸Ⅴ世竣工時に行われたような、竣工祝賀会は開催されませんでした。



竣工披露式式典、寶金総長挨拶



船橋内(人物は、澤辺智雄教授)

## うしお丸Ⅲ世竣工!

向井 徹(昭61ギ)

うしお丸Ⅲ世は、令和元年度に予算措置して頂き、代船建造が始まりました。まずは、どのような船にするかを検討し、建造仕様書を令和2年5月に完成させました。令和2年11月に新潟造船株式会社と契約をし、そこから設計に関する詳細な打合せを重ねていき、令和3年9月に新潟県新潟市の湊稲荷神社で、木村前水産学部長他4名が出席し、起工式をとり行い工事が始まりました。そして、令和4年3月30日には、寶金総長他多くの関係者ご出席のもと「うしお丸」の命名・進水式を無事挙行することができ、総長直筆の「うしお丸」の文字が船体に刻みこまれました。

建造時、日本中がまさにコロナ禍であり、感染対策等により思い通りに打ち合わせや建造を進める事ができ

ず、建造期間が3ヶ月ほど延びましたが、関係各位のご尽力により令和4年10月31日に竣工検査の上、同日引渡しとなり、11月4日に無事竣工披露式を迎える事ができました。

うしお丸Ⅲ世は、全長45.62m、幅8.20m、深さ3.40m、総トン数262トンで、定員はうしお丸Ⅱ世と変わらず33名ですが、全長で約6m、トン数は約100トン増え、一回りも二回りも大きくなりました(写真)。

うしお丸Ⅲ世は、多少の時化でも実習が可能なように耐候性の確保や船体動揺の軽減、近年増えてきた女性乗船者にも配慮した居住空間の確保、ランニングコストを抑えるべく省エネ化や環境負荷低減を計ると同時に、沿岸の資源や環境を調べるための計量魚群探知

機や全周スキニングソナー、自動曳航式連続水温塩分観測システムなど最新の水産資源・海洋計測機器を搭載しています。さらに、空中ドローンや水中ドローンなども装備し、うしお丸でも入れないようなさらに沿岸域の資源や環境をも対象として教育研究をしていく予定です。教育・研究の環境はもちろんのこと、居住空間においても乗組員の皆さんがご自分の家を建てるかのような細かい工夫を重ね、非常に使いやすい船に仕上げることができました。

今回、8年前のおしよろ丸に引き続き、2船目の洋上キャンパスが新造になったことで、将来にわたり広大な海洋フィールドをキャンパスとした高い水準の教育研究活動を実践できると考えております。SDGsの14番「海の豊かさを守ろう」に代表されるSDGsの目標達成に貢献できる人材の育成やこの広大な海洋フィールドを相手に縦横無尽に活躍できる人材の育成を行い、この北か

ら世界に貢献できるような人材輩出ができるものと考えております。

うしお丸Ⅲ世の建造過程やスペックなどについては、北大の教育プログラムであるバランスドオーシャン事業のオンライン教材プラットフォーム『LASBOS』（LASBOS 北大 で検索してみてください）の中にも詳細があります。是非ご覧になってください。



## 新うしお丸建造状況 — 終了報告 —

うしお丸 一等航海士 小林 直人(平3ギ)

前回は令和4年3月に行った命名式から執筆当時の6月上旬ころまでの建造状況を、主に工事の複雑さや工期の遅れを中心に報告しました。今回は10月の完工までを、回想を重ねつつ無事工事が終了したことを報告します。

二人の監督職員（進藤機関長と私）にとって春の清々しい季節はあっという間に過ぎ去り、5月の連休を終えたころからは本州（新潟）の梅雨とその後に続く夏の暑



写真1 岸壁に係留する“新うしお丸”

さに戦々恐々とする中工事は進められていきました。この頃はちょうど前回報告した予定外のドライドックへ入渠して行った船体の修復と重なる時期です。ドライドック出渠後は再び岸壁に係留し（写真1）、7月に発電機や主機・油圧ポンプ類など重要な部分の作動試験が予定されているため急ピッチで工事が進められ（写真2）、船内も各区画がいよいよ形作られてきました（写真3）。また検査の中心はそれまでの船殻検査から各区画の内張りや電路などの艤装検査へと移行していき、検査のたびに擦り傷を負っていたのがようやく解放されつつありました。

夏のうだるような暑さに耐えながら工事と検査が進められる中、新潟県でも連日新型コロナウイルス感染者が急増していると報道されるようになりました。7月も終わりの頃、新潟造船所内で陽性者が続出し一部を除き作業がストップしてしまう状況に陥り秋の引き渡ししが危ぶまれましたが、造船所の尽力もあり工程の遅れへの影響を最小限にとどめ、数日で作業が再開しました。工事が再開された8月、塗装の最終仕上げをするためド



写真2 ブリッジの作業風景:電線を全て接続しています



写真3 形成されつつある船内:学生食堂

ライドックへ入渠し(ファイナルドック・写真4)、また9月の海上公試・海上試運転、更に10月には引き渡しが控えているため、このファイナルドックで船の工事はいよいよ大詰めを迎えました(写真5)。

9月、多少の不安の中、海上公試を新潟沖・海上試験を佐渡沖で行いました(写真6)。試運転速力は13ノットを優に超え、操縦性能・静音性・耐候性能も良好な結果でした。また8ノット・10ノットでの水中放射雑音レベル

も目標を達成し、安堵とともに海上公試・海上試験は終了しました。こうして令和3年10月に始まったうしお丸Ⅲ世の代船建造工事は、当初の計画から約3カ月遅れましたが、令和4年10月31日の引き渡しを持って終了したことを報告します。



写真4 ファイナルドック:猛暑の中作業が続けられます



写真5 レーダーの艦装風景



写真6 海上試験:CTDウィンチを検査する進藤機関長(手前左)

## 練習船うしお丸Ⅲ世、何が新しくなった?

高津 哲也(昭63ギ)

令和5年1月10~13日に、新しい練習船うしお丸への乗船機会を得ましたので、報告いたします。

1月10日朝に函館を出港し、恵山を躲して室蘭方向に転針した途端に風速15m/秒を超えて波が高くなったため、一旦函館港外に引き返しました。横揺れの最大傾角は約15度。II世であれば25度は傾いていた状況で

したので、耐候性が高く船酔いしにくい船になったことを実感できました。翌11日は午前0時に抜錨して再び噴火湾に向かい、予定していた湾内への係留計の設置、海洋観測と採水、採泥、プランクトンと卵仔魚の採集をすべて行い、13日に帰港しました。

以下、Ⅲ世で向上した点を箇条書きします。

- ・機器類、備品がほぼすべて最新のものに入れ替わり、取得データの質が向上しました(写真1, 2)
- ・船尾デッキ面積が約2倍に拡大。床面の傾斜が緩くなって、細かい段差もなくなり、躓きや足を滑らすことが少なくなりました(写真3)
- ・女性専用衛生区画が新設されました。学生居室も広くなり、ベッドマットレス等も寝心地が向上しました
- ・学生室は17名全員が座って食事が摂れるようになりました(Ⅱ世は最大10人)。テーブルの幅も広くなりました(写真4, 5)
- ・主機、発電機ともに静かになり、船室間の壁も厚い防火構造になって、防音・防振・断熱・居住性が格段に向上
- ・船橋面積は約3倍になり、余裕を持って人がすれ違えるようになりました。荒天時の目視観測も船橋内で行えるようになりました
- ・以前はすれ違いできなかった廊下も広くなりました(写真6)
- ・乗組員居室が広くなり、おしよる丸に比べて劣って

いた職場環境が大幅に改善しました

坂岡桂一郎船長と進藤謙一機関長にお話を伺ったところ、Ⅱ世の最大船速であった10.7ノット時の燃料消費は、Ⅲ世でもほぼ変わらない一方で、最大船速が13ノットに向上したため、いざというときの避航性能が向上したとのことです。また船体動揺が少なくなっただけではなく、舵効きも格段に良くなったため操船もしやすくなったこと、清水タンクも大型化したため、給水のための寄港頻度が少なくなりそうとのことです。

本航海は、学部4年生の卒業論文や修士論文のデータを取得と、公益財団法人北水協会の研究助成事業、水産研究・教育機構とのスケトウダラ資源に関する共同調査に関するデータ取得のために行われました。乗船教員・学生はCovid-19に伴う半数制限により、乗船は筆者と大木淳之准教授、4年生3名、修士課程4名で、他に依頼されていた阿部泰人助教の係留計設置と、山口篤准教授のNORPACネットによるプランクトン採集も行いました。実習の様子は、北海道大学バランスドオーシャン、ユーチューブチャンネルで公開しています。

<https://www.youtube.com/channel/UCWo8IebtPw4Kibut-9Rga7w>



写真1 最新装備の例、有線式CTDとニスキン採水器  
(右:大木淳之准教授、左:修士1年藤本一晶君)



写真2 最新装備の例、魚群探知機  
(魚群と判定すると魚のアイコンを表示)



写真5 夕食例(他にライスがつきます)



写真3 船尾甲板(船幅、長さともに大幅に拡張、2023年1月12日の日出)



写真4 学生室昼食風景(テーブルが広がっています)



写真6 広くなった廊下(人物は中村 博 司厨次長)

## 特集②

# 水産科学未来人材育成館の基本計画

澤辺 智雄(平元食) 水産科学研究院 図書委員会委員長

念願であった水産学部図書館および総合博物館分館水産科学館(旧水産資料館)が改築されることになりました。両者を取り壊し、図書館の跡地に新たな複合施設が新設されます。令和6年度(2024年)の秋から、この施設の共用が開始される予定です。ここ数年間にわたる改築計画案の醸成を経て、令和4年度の初頭にこの予算が確定しました。当初案の策定から関与なさっていた高津教授(同窓会幹事長、前図書委員会委員長)および今村教授(水産科学館館長)をはじめ、北海道大学施設部、函館キャンパスの営繕・図書担当など、多くの教職員の尽力により、函館キャンパスの整備が一歩進みま

す。この整備により、水産学部・水産科学研究院・水産科学院における教育研究の一層の高度化が可能になるとともに、函館キャンパスの「イノベーション・コモンズ(共創の拠点)」としての機能も強化されます。そして、新たな施設は、他には類をみない図書館と博物館の連携施設となるため、そのユニークさから地域にも親しまれる施設として発展していくことでしょう。令和3年度から、水産科学研究院の図書委員会委員長として、この改築計画の採択に向け関わってきたことから、親潮の紙面を借り、本基本計画の概要を紹介します。



図1. 水産科学未来人材育成館の完成イメージ(改築設計案から抜粋)

## 1. 名称

新たな施設の名称は、「水産科学未来人材育成館」となります。2026年に迎える北海道大学の創基150年に向かって掲げられている「北海道大学近未来戦略」に沿うよう、この名称が選ばれました。新たな施設は3階建てで(図1)、1F、2Fおよび3Fは、それぞれ交流・情報発信スペース、図書館、

博物館・デジタル情報整備スペース(アーカイブ)、として活用されます(図2)。3Fと屋上(RF)に、それぞれバルコニーおよび展望ルーフが設けられ、函館の海や景色を眺めながら学修・交流する場も提供します。

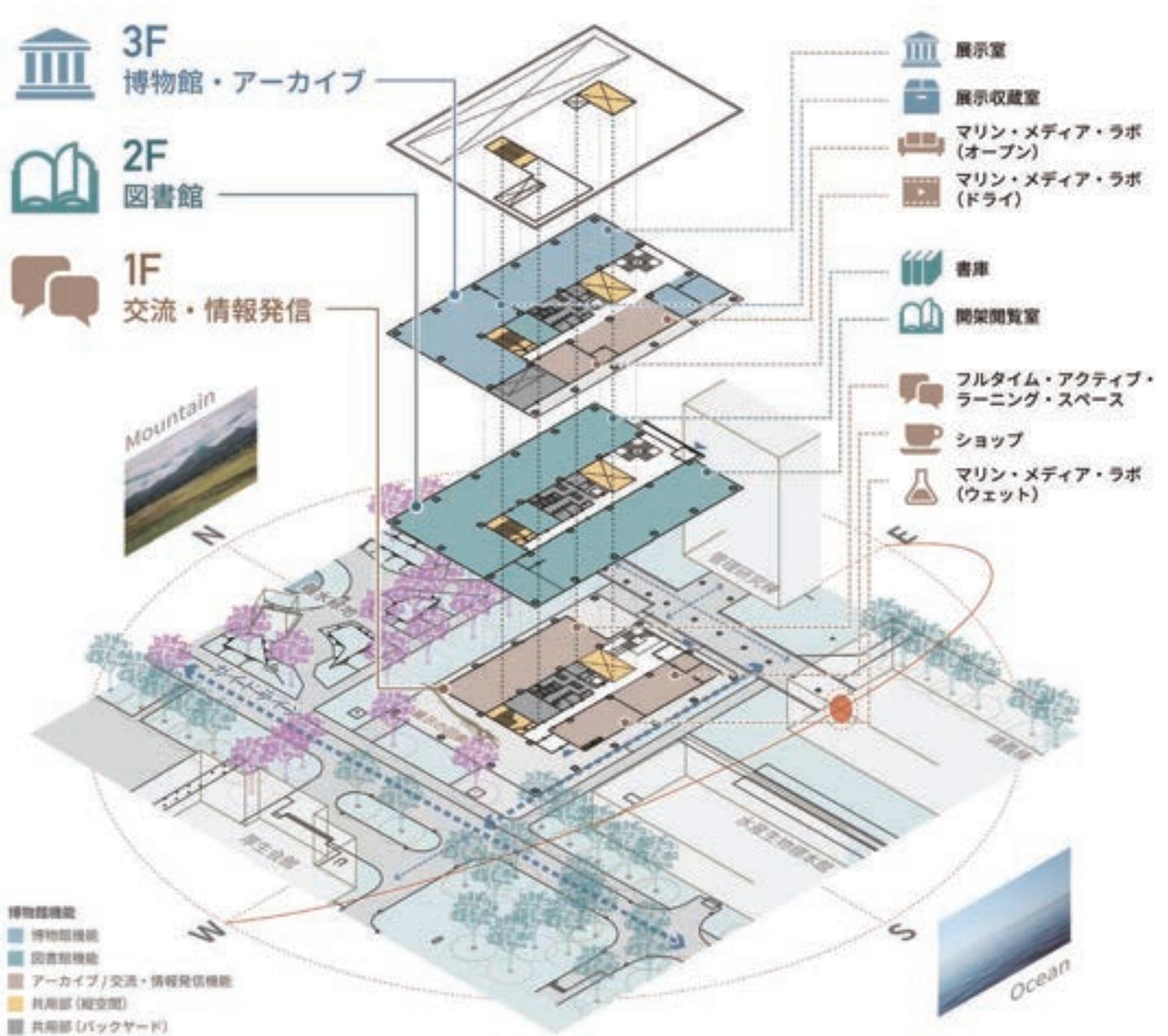


図2. 未来人材育成館の平面計画(基本計画から抜粋)

## 2. 基本計画

2020年3月に策定された「函館キャンパスマスタープラン」(<https://www.facility.hokudai.ac.jp/>) および2021年3月に策定された「第5次国立大学法人等施設整備5か年計画」([https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shisetu/kokuritu/1318409\\_00001.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/kokuritu/1318409_00001.htm)) が追い風になり、北海道大学内外での函館キャンパスにある図書館と博物館を改築する機運が一層高まりました。2021年12月末に水産科学未来人材育成館の改築予算が当初予算に盛り込まれ、令和4年度から新たな施設の改築が実施される運びとなりました。特に、「第5次計画」において「45年以上の大規模改修未実施の施設は全て改修する」との方針が明記された幸運もあり、築45年以上を経過した函館キャンパスの図書館(1972年建築)および水産科学館本館(1957年建築)は、まさにこの方針に合致する改修されるべき施設として北海道大学の施設整備の順位も上位に位置づけられることとなりました。水産科学館本館に至っては、老朽化が進み、建物の安全性を保証できなくなったことから、2015年12月から立ち入りが禁止され、水産学部が所有する貴重な博物資料を閲覧することすらできない状態です。

未来人材育成館の基本計画の骨格は、「博物館・図書館・アーカイブを連携させた複合施設」への転換であり、これに「第5次計画」や北海道大学の基本構想などに合致する「イノベーション・コモンズ」、「DX化」、「ニューノーマル」、「ダイバーシティ・インクルージョン」などへの対応を考慮し、新たな施設の設計に反映させています。また、環境負荷やエネルギーコストの軽減に配慮した建物の設計と地産地消の建設材料の使用など、カーボンニュートラルへの対応も加味された施設になる予定です。

## 3. ゾーニング

### 1) 1F 交流情報発信スペース

1Fは、学生が24時間自由に使える「フルタイム・アクティブ・ラーニング・スペース(通称 The Hall)」、学内外の来館者を暖かく迎える「光のラウンジ」、魚介藻類の観察や標本作製など水産科学の刺激的な体験を可能とする「ウェットラボ」などが配置され、学生間、学生と教員、そして地域・世界とつながる交流情報発信スペースで構成されます。また、現資料館にあるニタリクジラの骨格標本が本施設のメインアプローチの一つ(展示の回廊)に飾られる予定です。The Hallは、パーティションにより3分割することができるため、学生交流スペースとして以外にも、講演会や講義室としても使用できる多目的な空間として整備されます。さらに、The Hallと外の桜の広場をつなぐ「桜のテラス」も設置されます。

2) 2F 図書館

2Fには、水産学部図書館が設置されます。平面計画では、ゆとりある開架書庫とコンパクトな閉架書庫、が設けられ、現在と将来にわたり16万冊の蔵書や資料を常に最適に収集・保管・整理しつつ、全ての利用者が資料に容易にアクセスできる図書館として機能します。津波時に、図書資料の被害を最小限に抑えるよう、図書館部分は2F以上に設置されます。水産学部図書館が保有する貴重図書資料は3Fに保管されます。

### 2) 2F 図書館

3) 3F 博物館・アーカイブ

3Fには、水産科学館とデジタル教育プログラム(バランスドオーシャン, <https://repun-app.fish.hokudai.ac.jp/>)を核としたデジタル・アーカイブ機能が設置されます。図書館同様、津波対策のため、上層階に設置されます。剥製・標本等のリアルな資料とデジタル・アーカイブの機能の融合で、学術的資源の更なる価値向上を図るとともに、地域に開かれた共創の拠点として、近未来の教育研究に貢献する機能を備えます。博物館には、常設展示室に加え、バックヤードに展示されている資料も自由に見せる収蔵展示という方法が採用されま

### 3) 3F 博物館・アーカイブ

す。展示室から収蔵展示室はコの字型のループ動線で形成されます。この博物館で一通り展示を見た後は、マリンメディア・ラボとマリンメディア・プラザへと誘う導線になっています。マリンメディア・ラボとプラザは、自身で見てきた標本などをデジタル化するツールを備えたスペースとして整備される予定です。水産科学の次世代を担う若年層の好奇心をくすぐり、人材育成のきっかけを創る遊びの場としての機能も期待されます。3Fの海側には、展望バルコニーが設置されます。なお、この3Fは、非常時に避難場所などとしても機能します。

#### 4) RF 展望ルーフ

函館キャンパスは、海と山の自然に囲まれた絶好のロケーションにありますが、今まで、これらの自然の景観を活用した教育・研究環境は備わっていませんでした。新たな施設では、RFの一部を開放し、海の眺望を見ながら思案・解析・読書・ミーティングなどができる屋上ルーフが整備されます。

#### 5) 情報通信

新たな施設は最新の情報通信に対応し、いずれの階層でも快適な情報通信が可能になる予定です。

### 4. 新施設に期待されること

「外にはクジラの標本があり博物館っぽい。中に入ると、学生たちで賑わい、セミナーやプレゼンテーションも活発になされている。上層階に進むと図書館もある。最上階に向かうと、確かに博物館があり、しかも見ごたえのある常設・収蔵展示がなされている。さらに、DXツールも揃っていて、魚類や船舶のデジタルスケッチやアニメーション作製も学べる。」

このような、ワクワクするような水産科学を楽しみながら存分に学べる複合施設として、この未来

人材育成館が機能することを願っています。水産科学の先進的研究者・技術者の育成のみならず、北海道大学に対する評価が高い「SDGs」への意識が高い未来志向の人材育成に役立つことも願っています。

時悪く、水産科学未来人材育成館の整備にもインフレや資材不足の波が近寄っています。この新しい施設を十分に機能させ、維持するためには、多くのコストが見込まれています。あらゆる面からの自助努力や北水OBが活躍する民間企業の協力 (<https://edu.fish.hokudai.ac.jp/fom/>) などを得て、新施設の経費の超過分を最小限に留める努力を重ねていますが、水産科学研究院への少なからぬ経費負担は避けられないのが実情です。令和3年度から、水産学部への応援の志を受け入れる「水産学部応援プロジェクト」 (<https://sites.google.com/elms.hokudai.ac.jp/suisanouen/home>) を、北大フロンティア基金を窓口として設置しています。すでに、多くの北水同窓の皆様や学生およびそのご家族の皆様から、多くのご支援を賜っておりますが、なお一層の努力が求められる状況であります。未来志向の新たな図書館と博物館の融合施設の開館と持続可能な維持管理に向けて、今後、より多くの北水同窓の皆様からのさらなるご厚情を賜れることを祈念しております。同窓の皆様におかれましては、本施設が完成した暁には、函館キャンパスを訪問いただき、新たな共創の場を皆様とともに育んでいけることを楽しみに、筆をおかせていただきます。

以上

# 北海道大学 校友会 エルム

北海道大学 関係者の皆様のご登録をお待ちしております

※平成28年6月1日以前に基礎同窓会に加入されている方は会費不要です。



北海道大学関係者みなさんが  
ご入会いただけます。

📄 会員登録は以下URLからフォームにアクセス



<http://www.alumni-hokudai.jp/>

会員登録 をクリック!



会員登録が簡単になりました!

「お名前」「メールアドレス」「電話番号」  
「入学 or 卒業 or 所属情報」のみでOK

郵送でのお申し込みをご希望の方は事務局までご連絡ください

## 北大との絆をつなぐ一枚



三井住友カード株式会社 北海道大学カード

三井住友専用ページから申込む

三井住友カードサイト

カードをつくる

カード一覧

北海道大学カード



<https://www.smbc-card.com/nyukai/affiliate/hokudai/index.jsp>

本学卒業生、教職員の方 限定

# 北海道大学カード

北海道大学カードが北大生を支援する仕組み

北海道大学カードへの入会による取次手数料及びカード利用額に  
じた提携手数料がカード発行元の北海道大学校友会エルムに還元さ  
れ、これを「北大生支援資金」として北海道大学に寄附し、「奨学金」、  
「留学支援金」、「課外活動への費用援助」等に役立ててもらおうこと  
としています。



北海道大学 校友会 エルム  
HOKKAIDO UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION ELM



北海道大学 校友会 エルム 事務局

〒060-0809 札幌市北区北9西6丁目 国立大学法人 北海道大学 百年記念会館内  
TEL: 011-706-2101 FAX: 011-706-2010  
📧 <https://www.alumni-hokudai.jp> 📧 [kouyukai@general.hokudai.ac.jp](mailto:kouyukai@general.hokudai.ac.jp)

卒業生の皆様へ

# 「北大みらい投資プログラム」へのご協力をお願い

このたび北海道大学では、より実践的なリーダーシップ教育を実施するため、  
また研究者が世界に誇れる先端的研究を行う環境を整えるため、  
北大フロンティア基金の中に「北大みらい投資プログラム」を創設しました。

皆様からのご寄附は、苦学生の修学、海外留学、特定の研究、部活・サークル活動など、皆様のご指定される用途に使用いたします。  
後輩学生へのサポートとして、卒業生の皆様からのあたたかいご支援をいただきたく、心よりお願い申し上げます。



## 4つのプログラムメニュー

4つのメニューから、サポートしたい取り組みを指定してご寄附いただけます。



### 給付型奨学金

北大への進学や修学継続への意志が明確であるにもかかわらず、経済的理由により進学等を躊躇している学生に対し、返還の必要のない「給付型奨学金」を交付し、進学等をサポートします。

- 進学サポート奨学金
- 修学継続サポート奨学金



### 海外留学・インターンシップ等資金

明確な目標を持った優秀な学生の海外留学、研修の渡航費用等をサポートし、グローバル人材を育成します。

- 海外協定校等派遣・海外語学研修への支援
- 短期留学・研修・国際インターンシップへの支援 等



### 課外活動等支援資金

部活動・サークル活動や全学生が使用できる施設の整備など、課外活動の充実を図ります。

- 運動部・文化系サークル支援(個別指定可能)
- サークル会館、体育館、グラウンド整備への支援 等



### 用途指定資金

特定の学部や研究分野など、本学が実施する活動の中から、寄附者自身が用途を特定できるプログラムです。

- 特定の学部等への支援
- 特定の研究分野への支援 等

## 寄附方法



PCから

北大フロンティア基金HPにアクセスしてください。  
後輩学生を応援する(北大みらい投資プログラム)  
<https://www.hokudai.ac.jp/fund/projects/#mirai>



スマホから



振込用紙から

振込通知書に必要事項をご記入のうえ郵便局・銀行の窓口でお振込ください。

## 継続寄附のご案内

クレジットカード決済により、継続寄附(毎月・年2回・年1回いずれかの引落し)をご利用いただけます。  
また、お申込み時に会員登録いただくと登録内容の修正・解約などがインターネットで随時行えます。

お問い合わせ先

## 北大フロンティア基金事務室

〒060-0809 札幌市北区北9条西6丁目 北海道大学百年記念会館内

TEL 011-706-2017 FAX 011-706-2010

E-mail [kikin@jimu.hokudai.ac.jp](mailto:kikin@jimu.hokudai.ac.jp) URL <https://www.hokudai.ac.jp/fund/>

# 会員の受賞



CONGRATULATIONS ON WINNING

## 平田 芳明 氏(昭49食) 日本油化学会功績賞受賞

細川 雅史(平2食)



平田芳明氏は、日本油化学会総会(令和4年4月20日)において永年にわたる活動が評価され、日本油化学会功績賞を受賞しました。日本油化学会は、油脂・脂質、界面活性剤及びそれらの関連物質に関する科学と技術の進歩を図り、産業の発展及び生活と健康の向上に寄与することを目的として、昭和26年に設立された歴史のある学会です。日本油化学会の公益事業の柱の一つに「評価・試験法の標準化・普及」があり、「基準油脂分析試験法」を出版しています。この試験法は日本工業規格(JIS)や日本農林規格(JAS)にも採用されており、我が国唯一の油脂試験法の公定法です。大改訂はほぼ10年毎に行われますが、平田氏はこの事業などを担当する委員会に所属され中心メンバー(委員長・副委員長)として16年間、通算では約40年間新規試験の作成や見直しに携わりました。

平田氏は、昭和49年に水産学部水産食品学科食品化学第一講座を卒業後、日本食品分析センターに入所され、卒業論文が冷蔵冷凍保存中の魚肉の脂質変化であったこともあり油脂分析の部署に配属されました。その後油脂分析課長、基礎栄養部長、栄養事業部長などの役職を担当され、この間一貫して油

脂分析に直接あるいは統括する立場に関わりました。手掛けられた国の事業などには、「四訂日本食品標準成分表のフォローアップに関する調査報告II-日本食品脂溶性成分表(脂肪酸、コステロール、ビタミンE)」、栄養改善法改正に伴い公布された栄養表示基準制度の分析法(脂肪酸及びコステロール)の開発、内閣府食品安全委員会の委託事業「食品に含まれるトランス脂肪酸の評価基礎資料調査」などがあります。平田氏は、このトランス脂肪酸の調査を化学物質専門調査会議において報告されましたが、報道機関の取材を受けるほど関心が高かったそうです。また、日本食品分析センターのルーツでもある日本水産油脂協会の事業では、「太平洋系群マイワシの脂質成分調査」及び水産庁が委託するマリノフォーラム21の研究開発事業の「NMR法によるDHA等の新分析技術の開発」に携わりました。こうした調査事業等で得られた知見は、「基準油脂分析試験法」に記載された新規試験法に生かされました。

平成23年に日本水産油脂協会に移られ、常務理事、理事長を経て現在は理事をされています。ちょうどこの時期に「基準油脂分析試験法」の大改訂(2013年版)が行われ、平田氏はこの作業を行うワーキンググループの主務を務められました。

また、試験法発刊後は、ユーザーからの質問に丁寧に対応されるとともに試験法に関わるセミナーの企画・実施に携わるなど知見の普及に貢献されました。

ところで、平田氏によりますと、令和元年に創立70周年を迎えた日本水産油脂協会は、公益事業として水産油脂資源(マイワシ等の浮魚類)の動向や水産油脂の機能性など水産資源の利用に資する情報の発信を行っています。これらの事業は、古くから多くの同窓の方々に講演会の講師、そして冊子の執筆などご協力頂いており、この場を借りて感謝申し上げたいとのことです。平田芳明氏の益々のご活躍を祈念致します。

CONGRATULATIONS ON WINNING

## 齊藤 誠一 氏(昭50ギ) 2022年度 日本海洋学会宇田賞受賞

阿部 泰人(特)



齊藤誠一氏は、2022年度日本海洋学会宇田賞を受賞されました。受賞対象業績は「衛星リモートセンシングを利用した海洋研究と北極域研究の推進」です。宇田賞は顕著な学術業績を挙げた研究グループのリーダー、教育・啓発や研究支援において功績のあった者など、海洋学の発展に大きく貢献した学会員に授与されます。表彰式は、2022年9月5日に名古屋大学で開催された日本海洋学会秋季大会にて執り行われました。



齊藤氏は、昭和50年(1975年)に漁業学科資源生物学講座を卒業後、昭和51年(1976年)に大学院水産学研究科北洋水産研究施設漁業部門(現資源生物学講座)に進学しました。1984年に博士論文「人工衛星による黒潮と親潮の海況変動解析とその漁業への応用」で水産学博士の学位を取得されました。1984年に財団法人日本気象協会研究所研究員となり、情報処理部主任技師、専任主任技師を経て、1993年水産学部漁業航海学講座(現海洋計測学講座)助教授として母校に職を得ました。その後、2000年に水産科学研

究院教授、2015年より新規に設置された北極域研究センターのセンター長を歴任されました。

齊藤氏の今回の受賞理由は、海洋衛星リモートセンシングの分野において、その発展に多大な貢献を果たしてきたこと、衛星リモートセンシングを利用した海洋研究やその応用研究に関する多数のプロジェクトを牽引し、多くの研究計画で代表者を務めたこと、また、衛星データを、現場観測による実測データや数値予測モデルデータと統合して配信するサービスを開始し、水産業等への実利用をはじめとした海洋衛星リモートセンシングの社会実装にも大きく寄与している点です。さらに、齊藤氏は、北極域研究における貢献も極めて大きく、急激な海水減少により北極域が注目される以前から、アラスカ大学フェアバンクス校国際北極圏研究センター及び宇宙航空研究開発機構(当時NASDA)との共同研究を開始し、10年以上に渡って北極域における衛星海洋学的研究やモニタリング研究を推進し、2013年からは、国際プロジェクトESSAS(Ecosystem Studies of Sub-Arctic and Arctic Seas)の共同議長を6年間務め、前述の2015年4月に設立された北海道大学北極域研究センターの初代センター長として、組織の基盤を構築するとともに、我が国の北極域研究のナショナルフラッグシッププロジェクトである北極域研究推進プロジェクト(ArCS)のサブプロジェクトディレクターとして、研究を統括・推進した点です。

齊藤氏は、水産海洋学会にも設けている同じタイトルの宇田賞(水産海洋学会賞)を2014年に受賞し、2度目の宇田賞となっています。氏の手元に宇田賞ゆかりの宇田道隆先生のお顔がレリーフされた肖像メダルを2個持つことになりました。現在北極域研究センター研究員(研究推進支援教授)を務め、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の研究プロジェクト「複合衛星データを用いた気候変動下における持続可能なサケ資源利用」(2022-2024年度)の研究代表者としてまだ現役としてご活躍されています。

# 会員の受賞



CONGRATULATIONS ON WINNING

## 酒井 隆一 氏(特) 令和3年度日本水産学会賞受賞

細川 雅史(平2食)



本学院生物資源化学講座 酒井隆一教授は、「天然物化学の視点から展開する海洋生物の有効利用に関する研究」における優れた研究業績が評価され、令和3年度日本水産学会賞を受賞されました。

酒井氏は、1985年琉球大学海洋学研究科修士課程を修了後、ハーバーブランチ海洋研究所研究員、アメリカ合衆国イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校化学科博士課程修了、同博士研究員、1994年に北里大学水産学部助教授、2007年同教授を経て、2008年に北海道大学大学院水産科学研究院教授に着任されています。

酒井氏は、海洋生物が産生する多様な分子構造や特異的な生物活性を有する化合物に着目し、海洋天然物の医薬資源としての有用性に関して精力的な研究を展開してきました。これまで、同氏が発見および基礎的研究に携わった化合物の中には、抗がん剤として開発され、臨床応用へと進展したものが、海洋天然物創薬としての有望性を国内外に発信してきました。例えば、ホヤ由来のジデムニン類やエクテナシジン類の発見は、抗癌剤である Plitidepsin や Yondelis の開発へとつながり、最近

ではその関連化合物である Zepzelca も上市されるなど、今なお応用展開されています。

また、同氏は一般に精製が困難とされる水溶性抽出物から特異な生理活性小分子およびタンパク質を見出しており、特に海綿由来の興奮性アミノ酸 dysiherbaine の研究では、グルタミン酸受容体の生理機能や構造に関する知見を深めることに大きく貢献しました。さらに、海綿レクチンの CChG がグルタミン酸受容体の作用を増強することを発見し、その作用機構として細胞表面受容体に対する強力なモジュレーター作用を提唱しています。また、海綿レクチン ThC が造血サイトカインである トロンボポエチン受容体の作動薬であることを見出し、糖鎖を介した新たなサイトカイン受容体の活性化機構の解明へとつながっています。

最近では、水産生物の生理および生態を天然物化学の視点から解明すべく、網羅的なメタボロミクス解析手法を用いたイカの回遊履歴と生態の解明、ヨーロッパザラボヤの生態制御物質の探索、貝類の成分と生理に関わるケミカルコミュニケーション、サンゴ礁生態系における物質の流れなど、従来の手法ではわからなかった水産生物の生命現象の解明にも取り組んでいます。

このように、酒井隆一氏は海洋天然物の創薬資源としての有用性を実証するとともに、天然物化学の視点から新たな水産化学の研究領域の開拓に邁進されています。また、日本水産学会の水産教育推進委員会委員やマリンケミカルバイオロジー研究会の主宰者の一人として若手研究者の育成にも尽力しており、本受賞はそのような水産科学の発展に関わる社会貢献に対しても同氏の取り組みが高く評価されたものといえます。酒井隆一氏の益々のご活躍を祈念致します。

## 各種行事開催報告

# 北海道大学ホームカミングデー2022 水産学部卒業生・在校生のつどい

幹事長 高津 哲也(昭63ギ)

令和4年9月24日(土)、函館キャンパスでホームカミングデーを久しぶりの対面で開催しました。函館で開催したこともあり、例年より多い約90名のOGOBの皆様にご参加いただきました。

午前中は講義棟大講義室で、札幌キャンパスで開催中の全学ホームカミングデー行事をオンライン中継しました。昼休みは北大生協水産店に特別営業をお願いし、復元されたカレッジランチとエルムランチをご提供いただきました(写真1)。お値段も、かなり当時に近い値段まで頑張ってください、大変ありがたかったです。

午後は13:30から学内見学ツアーを実施しました(写真2)。屋外展示のカッターや、取り壊しが決定している総合博物館水産科学館(旧水産資料館)の

木造部分の外観と鉄筋部分の内部展示、そして将来的に取り壊しが検討されている講堂(トド裏)の内部、練習船写真の展示スペース、管理研究棟6階大会議室からの海側山側の眺望を楽しんでいただきました。特に第2次世界大戦以前から維持されて



写真1



写真2

## 各種行事開催報告

いるトド裏は、懐かしがる方が大変多く、現在は耐震性の懸念から利用頻度が極端に少なくなっていることをお伝えさせていただきました。

14:30からは再び大講義室に会場を移し、講演と北水同窓会総会を実施しました。はじめに都木靖彰水産科学研究院長から近況報告があり(写真3)、練習船うしお丸代船の建造状況、地域交流機能を統合した「水産科学未来人材育成館」の建築が開始されたこと、そして10月1日から地域・企業・大学を結びつける「地域水産業共創センター」を開所し、マスノスケ養殖の実現や海藻類養殖の改善、ウニ類の高度活用などの取り組みが、多数の映像とともに紹介されました。

次に、本学部卒業生の池谷幸樹氏(アクア・トトぎふ館長)に、「水族館に勤めて50代で思うこと」と題してご講演いただきました(写真4)。講演内容は、製薬会社の医療情報担当者として就職後、「やはり生き物に携わる仕事がしたい」と考えて、水族館を運営する企業に転職、さらに現在の江ノ島マリンコーポレーションに転職して、アクア・トトぎふにオープニングからかかわった経歴を披露いただきました。また、同館の施設やスタッフの仕事の概要とともに、水族館事業を行う上での難しさも伺うことができました。現在、同水族館は水生生物の展示だけではなく、魚類の不思議な生態の研究や保全に貢献しており、メコンオオナマズの絶食の謎、鱗食性魚類であるペリソダス・マイクロピスの左利き・右利きの研究と繁殖の成功、木曾



写真3

川固有魚類のイタセンパラの域外保全への取り組み、イトヨの淡水進出に体内でのDHA合成能が深く関与している研究等を紹介していただきました。またこれらの成果がマスコミを通じて広く報



写真4

道された結果、来館者数の維持・増加に貢献しているとのこと。質疑応答では、参加したOBから研究結果に関する貴重な提言や、在校生からの就職活動に対する望ましい姿勢などを問う質問等があり、活発な交流が実現しました。

講演会に引き続き、「北水同窓会第100回定期総会」が開催されました。横山清会長(株式会社アークス代表取締役社長)による挨拶の後、幹事から活動状況が報告され、参加者の皆様から令和5年度の取り組みに向けた要望や、同窓会の活性化に向けた提案を伺うことができました。

今回参加されたOGOBの皆様からは、久しぶりの対面開催を喜ぶ声が多く寄せられ、大変充実したものとなりました。なお新型コロナウイルスの感染拡大前であれば、総会後に懇親会を開催していましたが、今回はまだ開催に慎重さを求める意見がありましたので、見合わせました。

令和5年度の「ホームカミングデー2023」は、巻頭でお知らせしたように9月30日に札幌キャンパスで開催し、北水同窓会総会も札幌支部の皆様のご協力を得て、ホームカミングデーに引き続き開催する予定です。皆様、今からスケジュールに入れていただきますよう、お願い申し上げます。

## 北水同窓会総会の報告

- 開催日時:令和4年9月24日(土) 16時10分より
- 会場:北海道大学函館キャンパス(水産学部)大講義室

令和3年度北水同窓会第100回定期総会は、令和4年9月24日16時10分から、北海道大学函館キャンパス(水産学部)大講義室にて開催されました。横山 清北水同窓会会長にご挨拶を頂いたあと、議長に函館支部支部長の矢部 衛氏(昭51ゾ)が選出され、議事進行となりました。高津幹事長、各部(庶務部、編集部、組織

部、会計部)幹事より、令和3年度事業会計(監査)報告があった後に、令和4年度事業計画予算案、4年度の役員改選、次年度開催地が審議され、いずれも承認され終了となりました。

庶務部 山口 篤(平6ゾ)

### 出席者

#### 〈本部参加者〉

横山 清 (昭35エ) 会長  
 都木 靖彰 (昭59ゾ) 名誉会長  
 池谷 幸樹 (平6ゾ) 講演会講師  
 高津 哲也 (昭63ギ) 幹事長  
 細川 雅史 (平2食) 副幹事長  
 田中 啓之 (平元化) 庶務部  
 山口 篤 (平6ゾ) 庶務部  
 山木 将吾 (平24資化) 庶務部  
 浦 和寛 (平3ゾ) 会計部  
 別府 史章 (平16資) 会計部  
 安藤 靖浩 (昭63化) 編集部  
 熊谷 祐也 (平17資) 組織部

#### 〈学内参加者〉

笠井 亮秀 (特別会員)  
 藤森 康澄 (特別会員)  
 山下 俊介 (特別会員)  
 川合 祐史 (昭55食)  
 木村 暢夫 (昭55ギ)  
 今村 央 (昭63ゾ)  
 山崎 浩司 (平2食)  
 清水 宗敬 (平3ギ)  
 石原 千晶 (平22海生)  
 黒田 充樹 (平30増生)  
 小幡 光汰 (令2海生)  
 樋口 淳也 (令2海生)  
 柳 友寛 (令3資化)  
 藤本 一品 (令4海生)  
 山梨 颯太 (令4海生)  
 竹中 友理 (令4海資)

生末 学 (令4増生)  
 葛西 鍊 (令4増生)  
 湯澤 哲太 (令4増生)  
 庄 子昕 (博士2年)  
 シー・リン・イェン (博士1年)  
 伊藤 真澄 (修士2年)  
 秋野 僚太 (学部4年)  
 岡田万太郎 (学部4年)  
 今武 洋人 (学部4年)  
 志水 歌野 (学部4年)  
 檜垣 健介 (学部4年)  
 廣瀬 朋輝 (学部4年)  
 松浦 未来 (学部4年)  
 吉村 将希 (学部4年)

#### 〈参加者〉

尼岡 邦夫 (特別会員) 函館  
 米田国三郎 (昭40エ) 函館  
 猪上 徳雄 (昭41セ) 函館  
 兼崎 英勝 (昭41セ) 愛知・支部長  
 高橋 豊美 (昭44エ) 函館  
 内藤 義和 (昭44エ) 函館  
 西村 清治 (昭44エ) 札幌  
 松浦 光紀 (昭44エ) 小樽  
 吉川 圭一 (昭44エ) 兵庫  
 高橋 英明 (昭44食) 札幌  
 梶 敏 (昭44ゾ) 十勝・支部長  
 志賀 直信 (昭44ゾ) 函館  
 山内 皓平 (昭44ゾ) 函館  
 入江 和彦 (昭45ギ) 大阪  
 根尾 友久 (昭47食) 札幌

蒲原 幸男 (昭49ギ) 高知・支部長  
 大村 泰治 (昭51食) 大阪  
 矢部 衛 (昭51ゾ) 函館・支部長  
 青木 宏行 (昭54ギ) 神奈川  
 寒河江正博 (昭54ギ) 東京  
 神保 重孝 (昭54ギ) 愛知・副支部長  
 近藤 忠裕 (昭54化) 京滋  
 中西 圭太 (昭54化) 兵庫  
 中村 正登 (昭55化) 兵庫  
 及川 晋 (昭56ギ) 東京  
 大橋 人司 (昭56ギ) 大阪・事務局長  
 佐々木雅人 (昭56化) 大阪・支部長  
 小島 茂樹 (昭61化) 愛知  
 中村 善幸 (昭62ギ) 函館  
 佐藤 雅己 (昭62化) 札幌  
 今野 伸 (昭62食) 函館  
 亀山 喜明 (昭63食) 函館  
 山下 正枝 (昭63ゾ) 京滋  
 樋口 正仁 (平元ゾ) 新潟  
 蝦名 浩 (平2ゾ) 青森  
 釜谷 明 (平3食) 東京・幹事長  
 澤田 和明 (平3食)  
 品田 智絵 (平3食)  
 澤田 浩二 (平3ゾ) 石川  
 杉原 伸郎 (平3ゾ) 東京  
 海津 裕 (平5ギ)  
 風間 真紀 (平6ゾ) 静岡  
 蔵原啓一郎 (平9ゾ) 札幌  
 中野 紀彦 (平10ギ) 函館  
 宮地 誉志幸 (平26海生)

## ■総会次第

### 1. 開会の辞

庶務部 山木 将悟(平24資化)

### 2. 同窓会長挨拶

北水同窓会会長 横山 清(昭35エ)

### 3. 議長選出

### 4. 議案第1号

令和3年度事業経過報告および  
会計決算報告

#### (1) 一般経過報告

幹事長 高津 哲也(昭63ギ)

#### (2) 庶務部報告(資料1)

庶務部 山木 将悟(平24資化)

#### (3) 編集部報告(資料2)

編集部 安藤 靖浩(昭63化)

#### (4) 組織部報告(資料3)

組織部 熊谷 祐也(平17資)

#### (5) 会計部報告(資料4)

会計部 浦 和寛(平3ゾ)

#### (6) 会計監査報告

監事 関 秀司(昭57化)

### 5. 議案第2号

令和4年度事業計画および予算案

#### (1) 令和4年度役員改選案(資料5)

庶務部 山木 将悟(平24資化)

#### (2) 令和4年度事業計画案

幹事長 高津 哲也(昭63ギ)

#### (3) 第101回(令和4年度)定期総会開催地(札幌 予定)について

幹事長 高津 哲也(昭63ギ)

#### (4) 令和4年度予算案

##### 1. 会計部予算案(資料6)

会計部 浦 和寛(平3ゾ)

#### 2. 編集部予算案(資料7)

編集部 安藤 靖浩(昭63化)

#### 3. 組織部予算案(資料8)

組織部 熊谷 祐也(平17資)

### 6. その他

### 7. 閉会の辞

庶務部 山木 将悟(平24資化)

## ■令和3年度 庶務部報告(資料1)

### 1) 新入会員数

海洋生物科学科	58名
海洋資源科学科	46名
増殖生命科学科	51名
資源機能化学科	52名
大学院(他大学、他学部出身者)	
修士	3名
博士	2名
合計	212名

### 2) 本年度物故者(令和3年度親潮掲載分)

正・準会員	72名
名誉、特別会員	0名
合計	72名

### 3) 会員現在数(3月10日現在)

正・準会員総数	16,417名
物故正・準会員数	3,717名
正・準会員現在数	12,700名
(内準会員数)	(14名)
特別会員数	74名
会員数合計	12,774名

### 4) 新入会員を含めた会員現在数(3月10日現在)

合計 12,986名

## 令和3年度 編集部報告

(親潮発行)(資料2)

	号数	発行年月日	全頁数	印刷部数	印刷費	摘要
予算	317号	令和3年8月末	本誌 32頁 (内カラー7頁)	8,100	1,000,000	※1
	318号	令和4年2月末	本誌 32頁 (内カラー7頁)	8,100	1,000,000	※1
	合計		64	16,200	2,000,000	
決算	317号	令和3年8月26日	本誌 26頁 (内カラー5頁)	8,100	810,810	※1
	318号	令和4年3月10日	本誌カラー 20頁 (内カラー6頁)	8,100	686,070	※1
	合計		46	16,200	1,496,880	

※1 印刷会社：祐三和印刷 印刷費には別刷り振替用紙代、消費税を含む

## 令和3年度 組織部報告

(名簿会計)(資料3)

	項目	予算額	決算額	摘要
収入	前年度繰越金	1,003,219	1,003,219	
	一般会計より繰入	1,000,000	1,000,000	名簿積立金
	受取利子		5	
合計	2,003,219	2,003,224		
支出	次年度繰越金	2,003,219	2,003,224	
	合計	2,003,219	2,003,224	

(繰越金の内訳 ゆうちょ銀行 2,003,224円)

## 令和3年度 会計部報告 (資料4)

### 1) 一般会計決算報告

	項目	予算額	決算額	摘要
収入	前年度繰越金	3,548,419	3,548,419	
	会費	6,800,000	7,110,000	1683名 予算1700名
	親潮広告料	160,000	240,000	
	雑収入	100,000	5,525	
	合計	10,608,419	10,903,944	
支出	親潮印刷費	2,000,000	1,496,880	(資料2)
	通信・運搬費	2,000,000	1,781,373	親潮発送費2回分含む
	総会旅費	100,000	0	函館開催延期
	組織強化費	700,000	489,425	
	ホームカミングデー経費	150,000	25,440	
	備品費	30,000	26,440	
	消耗品費	130,000	64,182	
	会議費	30,000	0	
	振替手数料	230,000	253,821	
	事務嘱託費	2,320,000	2,284,069	
	備入費	20,000	0	
	HP維持費	80,000	75,350	
	雑費	20,000	11,198	
	OA機器整備費	50,000	50,000	積立
	名簿会計へ	1,000,000	1,000,000	(資料3)
	予備費	1,748,419	0	
次年度繰越金		3,345,766		
合計	10,608,419	10,903,944		

収支差引額(令和4年度に繰越) 3,345,766円  
(繰越金の内訳: 銀行預金 3,269,195円、現金 76,571円)

### 2) OA機器整備費(積立)決算報告

	項目	予算額	決算額	摘要
収入	前年度繰越金	180,807	180,807	
	一般会計より積立	50,000	50,000	
合計		230,807	230,807	
支出	カラー複合機購入		40,400	
	次年度繰越金	230,807	190,407	
合計		230,807	230,807	

(繰越金の内訳 ゆうちょ銀行 190,407円)

### 3) 特別会計決算報告

	項目	予算額	決算額	摘要
収入	前年度繰越金	13,319,401	13,319,401	
	定期預金(マリンバンク)利息		83	
合計		13,319,401	13,319,484	
支出	次年度繰越金	13,319,401	13,319,484	
	合計	13,319,401	13,319,484	

### ○特別会計資産内容

項目	資産額	摘要
郵便定期貯金2口(新規)	8,380,000	
銀行定期預金(マリンバンク)1口	4,939,484	
合計	13,319,484	

## 会計監査報告

北水同窓会の令和3年度における会計監査を実施した結果を下記のとおり報告致します。

記

1. 監査対象期間 自 令和3年3月11日  
至 令和4年3月10日
2. 出納簿は、関係書類と対査の結果適正である。
3. 現金及び預貯金は、出納簿に照合し適正である。

以上

令和4年3月14日

監事 河原武則

監事 関秀司

令和4年度 役員改選案 (資料5) [○は新任]

**会長**  
 横山 清 (昭35エ)  
**名誉会長**  
 ○都木 靖 彰 (昭59ゾ)  
**副会長**  
 鈴木 賢 一 (昭36セ)  
 吉野 生 壮 (ノ37ゾ)  
 樋口 達 夫 (ノ50食)  
**代表理事**  
 ○川合 祐 史 (昭55食)  
**学内理事**  
 木村 暢 夫 (昭55ギ)  
 山羽 悦 郎 (ノ55ゾ)  
 工藤 勲 (ノ57化)  
 関 秀 司 (ノ57化)  
 岸村 榮 毅 (ノ60化)  
 向井 徹 (ノ61ギ)  
 亀井 佳 彦 (ノ61ギ)  
 水田 浩 之 (ノ61ゾ)  
 宗原 弘 幸 (ノ61修ギ)  
 高津 哲 也 (ノ63ギ)  
 安藤 靖 浩 (ノ63化)  
 今村 央 央 (ノ63ゾ)  
 大坂 西 広 二 (平元ギ)  
 坂岡 桂 一郎 (ノ元ギ)  
 高山 木 力 (ノ元ギ)  
 山田 中 生 (ノ元ギ)  
 丸山 英 男 (ノ元化)  
 澤辺 智 雄 (ノ元食)  
 細川 雅 史 (ノ2食)  
 山崎 浩 司 (ノ2食)  
 東藤 孝 孝 (ノ2ゾ)  
 小林 直 人 (ノ3ギ)  
 清水 宗 敬 (ノ3ギ)  
 宮下 和 士 (ノ3ギ)  
 浦和 寛 (ノ3ゾ)  
 工藤 秀 明 (ノ3ゾ)  
 ○井尻 成 保 (ノ4ゾ)  
 ○和田 哲 哲 (ノ4ゾ)  
 ○今井 圭 理 (ノ4化)  
**監事**  
 河原 武 則 (昭43エ)  
 ○向井 徹 (ノ61ギ)  
**学外理事**  
 高山 島 優 (昭33エ)  
 山崎 文 雄 (ノ33ゾ)  
 米田 義 昭 (ノ34セ)  
 小祝 良 介 (ノ36エ)  
 大河 割 了 (ノ37ギ)  
 古村 章 恒 弘 (ノ37ゾ)  
 麦井 谷 恒 泰 雄 (ノ37ゾ)  
 天下 井 清 (ノ39エ)

木村 昇 (昭40セ)  
 猪上 德 雄 (ノ41セ)  
 上平 幸 好 (ノ41ゾ)  
 岸本 富 男 (ノ42ギ)  
 山本 勝 太郎 (ノ42ギ)  
 池田 田 勉 (ノ43ゾ)  
 仲谷 一 宏 (ノ43ゾ)  
 高橋 藤 一 豊 昭 彦 (ノ44エ)  
 工藤 賀 直 信 (ノ44ゾ)  
 志山 内 皓 平 (ノ44ゾ)  
 山三 浦 汀 介 (ノ45ギ)  
 三佐川 稔 (ノ45ギ)  
 築田 満 (ノ45化)  
 後藤 晃 (ノ45ゾ)  
 原 彰 彦 (ノ46ゾ)  
 中林 重 雄 (ノ47ギ)  
 目黒 敏 美 (ノ47ギ)  
 近江 政 斗 (ノ47食)  
 土谷 俊 一 (ノ48ギ)  
 坂本 幸 造 (ノ48食)  
 桜井 泰 憲 (ノ48ゾ)  
 吉田 正 人 (ノ48ゾ)  
 吉野 威 (ノ49ギ)  
 飯田 浩 二 (ノ51ギ)  
 平石 智 德 (ノ51ギ)  
 増田 宣 泰 (ノ51化)  
 上野 部 孝 衛 (ノ51ゾ)  
 清水 沼 晋 (ノ53ギ)  
 蛇野 俊 二 (ノ53ギ)  
 上野 久 仁 夫 (ノ53化)  
 備前 悟 (ノ53化)  
 ○尾島 孝 男 (ノ54化)  
 広崎 淳 一 (ノ55ギ)  
 正木 悦 郎 (ノ55ギ)  
 ○足立 伸 次 (ノ55ゾ)  
 宮岡 秀 昌 (ノ55ゾ)  
 安井 肇 (ノ55ゾ)  
 西川 正 一 (ノ56ギ)  
 種田 貴 司 (ノ56食)  
 藤田 公 美 (ノ57ギ)  
 小林 良 一 (ノ57食)  
 小佐 藤 友 則 (ノ57食)  
 横山 信 一 (ノ58ギ)  
 佐藤 直 孝 (ノ58食)  
 今野 伸 (ノ62食)  
 宮崎 永 司 (平元ギ)  
**学外幹事**  
 柳町 琢 也 (平4化)  
 阿部 部 慶 太 (ノ5化)  
 鳥海 滋 (ノ12資)  
 島田 潤 平 (ノ23増生)  
 木間 大 河 (ノ25海資)

**地方理事**  
 (稚内) 風 無 成 一 (昭41ギ)  
 (留萌) 祐 川 正 幸 (ノ48ゾ)  
 (紋別) 遊 佐 慎 太郎 (ノ52エ)  
 (網走) 葛 西 恭 博 (ノ53ギ)  
 (根室) 野 別 貴 博 (平8ゾ)  
 (釧路) 穂 積 明 (昭40ギ)  
 (旭川) 斉 藤 隆 司 (ノ46化)  
 (十勝) 梶 敏 (ノ44ゾ)  
 (苫小牧) 木 村 実 (ノ48食)  
 (室蘭) 矢 島 清 孝 (ノ45食)  
 (札幌) 林 和 明 (ノ38ゾ)  
 (札幌) 眞 田 篤 弘 (ノ43化)  
 (札幌) 小野寺 勝 広 (ノ56ギ)  
 (小樽) 木 村 司 (ノ61ギ)  
 (余市) 宇 藤 均 (ノ45ゾ)  
 (青森) 佐 藤 立 治 (ノ36エ)  
 (八戸) 関 川 順 悦 (ノ55ギ)  
 (秋田) 柴 田 理 (ノ55ギ)  
 (村山) 山 田 彰 一 (ノ40ゾ)  
 (庄内) 佐 藤 洋 (ノ54ギ)  
 (盛岡) 藤 本 勝 彦 (ノ61食)  
 (宮古) 山 本 敬 久 (ノ62ギ)  
 (釜石) 高 橋 禎 (ノ56ゾ)  
 (仙台) 稲 田 一 (平15海)  
 (石巻) 小 池 世 幾 敏 朗 (昭53ギ)  
 (気仙沼) 千 葉 健 朗 (ノ46ゾ)  
 (福島) 江 部 一 (ノ44ゾ)  
 (茨城) 渡 辺 夫 (ノ47ゾ)  
 (栃木) 澤 田 守 伸 (ノ54ゾ)  
 (埼玉) 吉 川 晴 二 (ノ41ゾ)  
 (館山) 安 田 健 治 (ノ56食)  
 (銚子) 未 定  
 (千葉) 佐 藤 喜 雄 (ノ56ゾ)  
 (東京) 菊 本 肇 (ノ40ギ)  
 (神奈川) 金 庭 正 樹 (ノ57化)  
 (新潟) 大 塚 修 (ノ50ゾ)  
 (長野) ○菊地 咲 子 (平9ギ)  
 (静岡) 木 嶋 武 郎 (昭45エ)  
 (富山) 川 崎 賢 一 (ノ42セ)  
 (石川) 池 田 裕 司 (ノ49ゾ)  
 (福井) ○富永 修 (ノ56ギ)  
 (愛知) 兼 崎 英 勝 (ノ41セ)  
 (京都・滋賀) 澤 田 宣 雄 (ノ57ゾ)  
 (三重) 石 川 輝 (平2ゾ)  
 (大阪) 佐 木 雅 人 (昭56化)  
 (兵庫) 中 岸 明 彦 (平元ギ)  
 (和歌山) 丸 山 清 重 (昭55ゾ)  
 (鳥取) 山 本 一 (ノ52ゾ)  
 (岡山) 鈴 木 伸 一 (ノ50ギ)  
 (広島) 羽 原 浩 史 (ノ55化)  
 (鳥根) 児 玉 一 (平12生)  
 (関門) 萬 年 信 一 (昭37エ)  
 (香川) 小 野 知 足 (ノ34ゾ)

(愛媛)	桑原彰三(昭53ゾ)	(長崎)	渡辺康憲(昭51化)	(沖縄)	渡辺利明(昭52ゾ)
(徳島)	宮本孝則(平元ギ)	(熊本)	安田広光(〃58食)	(韓国)	李春雨(平3博ギ)
(高知)	蒲原幸男(昭49ギ)	(大分)	武田晴美(〃56ギ)	(中国)	田元勇(〃22応博)
(福岡)	村上憲男(〃51ギ)	(宮崎)	未定	(北米)	三浦明夫(昭53ゾ)
(佐賀)	高橋寛昌(平13海)	(鹿児島)	松岡達郎(昭52ギ)		

### 令和4年度 本部常任幹事 直通電話番号

市外局番(0138)

幹事	長	高津 哲也(昭63ギ)	40-8822	編集	部	○安藤 靖浩(昭63化)	40-8803
副幹事	長	○細川 雅史(平2食)	40-5530			藤本 貴史(平12生)	40-5536
庶務	部	○田中 啓之(平元化)	40-8809	組織	部	熊谷 祐也(平17資)	40-5560
		山口 篤(平6ゾ)	40-5631			○西村 俊哉(平21生)	40-5535
会計	部	浦 和寛(平3ゾ)	40-8850	事務局	局	吉田 秀美	42-3681
		○井上 晶(平5化)	40-8591				

## 令和4年度 会計部予算案 (資料6)

### 1) 一般会計予算案

	項目	予算額	摘要
収入	前年度繰越金	3,345,766	1,800名見込み
	一般会社	7,200,000	
	親潮広告	160,000	
	雑収入	100,000	
	合計	10,805,766	
支出	親潮印刷費	2,000,000	(資料7) 親潮発送費(2回分)含む 札幌開催 ※
	通信・運搬費	2,000,000	
	総会旅費	300,000	
	組織強化費	700,000	
	ホームカミングデー経費	150,000	
	備用品	30,000	
	消耗品	130,000	
	会議費	30,000	
	振替手数料	280,000	
	事務嘱託費	2,320,000	
	備人	30,000	
	HP維持費	80,000	
	雑費	20,000	
	OA機器整備費	50,000	積立 (資料8)
	名簿会計へ	1,000,000	
	予備	1,685,766	
	合計	10,805,766	

※総会補助30万円、本部役員会補助7万円、卒業祝い品6万円を含む。

### 2) OA機器整備費(積立)予算案

	項目	予算額	摘要
収入	前年度繰越金	190,407	
	一般会社より積立	50,000	
	合計	240,407	
支出	次年度繰越金	240,407	
	合計	240,407	

### 3) 特別会計予算案

	項目	予算額	摘要
収入	前年度繰越金	13,319,484	
	合計	13,319,484	
支出	次年度繰越金	13,319,484	
	合計	13,319,484	

### ○特別会計資産内容

項目	資産額	摘要
郵便定額貯金2口	8,380,000	
銀行定期預金(マリンバンク)1口	4,939,484	
合計	13,319,484	

## 令和4年度 編集部予算案

(親潮発行)(資料7)

号数	発行年月日(締切り)	全頁数	印刷部数	印刷費	摘要
319号	令和4年8月末(7月10日)	本誌 32頁 (内カラー7頁)	8,000	1,000,000	※1
320号	令和5年2月末(1月10日)	本誌 32頁 (内カラー7頁)	8,000	1,000,000	※1
	合計	64	16,000	2,000,000	

※1 印刷会社:(有)三和印刷  
印刷費には別刷り振替用紙代、消費税を含む。

## 令和4年度 組織部予算案

(名簿会計)(資料8)

	項目	予算額	摘要
収入	前年度繰越金	2,003,224	名簿積立金
	一般会社より繰入	1,000,000	
	名簿広告料	1,500,000	
	合計	4,503,224	
支出	名簿印刷費	3,700,000	3200部
	次年度繰越金	803,224	
	合計	4,503,224	

## 北水同窓会大阪府支部 令和4年度総会報告

大橋 人司(昭56ギ)



37名の参加者一覧

吉川圭一(昭44エ)、米谷幸治(昭44食)、久保田幸一(昭45化)、入江和彦(昭45ギ)、山仲春男(昭46食)、西川一義(昭46ヅ)、藤田信良(昭48ギ)、田中文夫(昭50食)、中川武司(昭50ギ)、室井智子(昭50食)、大村泰治(昭51食)、玉置純(昭51ギ)、中進作(昭53化)、石田浩平(昭54食)、金子哲郎(昭54食)、北川和郎(昭54ギ)、松下秀之(昭54農学部・農化)、佐々木雅人(昭56化)、大橋人司(昭56ギ)、佐藤信光(昭57化)、楠山仁志(昭59ギ)、青木孝之(昭59ギ)、中田邦彦(昭61食)、藤井英嘉(昭61ギ)、村田泰克(昭62ギ)、吉田幸治(平元ギ)、小田哲也(平4ギ)、若林真由(平5修食)、井上武俊(平6ヅ)、堀越光晴(平8ギ)、藤原匠逸(平13生)、櫻井遥平(平19生)、藤井佑介(平23資化)、森田隆寛(平24ヅ)、梶原慧太郎(平27海生)、各務彰記(平28海生) 服部雄地(令2海資)

二年に一度の大阪府支部総会を、11月19日(土)、中之島センタービル31階のうおまん中之島店にて開催いたしました。新型コロナ肺炎の感染拡大は抑えられているものの、まだまだ終息とは言えない状況であるので、感染対策として、密にならないようなテーブルの配置、参加者全員のマスク着用、会食は一人ずつのお弁当形式等々に配慮しての開催となりました。

定刻通り15時から、佐々木支部長の開会挨拶のあと、中田副支部長の司会により、亡くなられた同窓生への黙禱に始まり、大橋事務局長による、令和2・3年度事業報告、同会計報告、藤田監事による会計監査報告のあと、令和4・5年度事業計画、同予算案の説明、役員改選案の発表と進み、全ての議案が出席者により承認されました。最後に勇退される佐々木支部長の挨拶と大橋新支部長の挨拶にて無事総会は終了しました。

第二部の講演会は、ナガセサンバイオ(株)フィード部門専任理事の佐藤信光氏による、「日本の養殖と世界の養殖・種苗生産の観点から」という、水産に携わる者としては

非常に興味深く、質疑応答の時間が不足するような講演内容でした。

第三部の懇親会は大村顧問の司会により、大橋新支部長の挨拶、藤田支部顧問による乾杯にて始まりました。今回は新卒業生の参加は叶いませんでしたが、平成19年以降卒業の若い世代に自己紹介をお願いしその後、外れ無しの抽選会が行われ、大村顧問に提供していただいた健康食品「とうさガール」、若林氏に提供していただいた「グリコ菓子詰め合わせ」やきのとやのクッキー札幌農学校、北大グッズ、おしよ丸カレー等々が各自の家庭への恰好のおみやげになりました。あとは、時間の許す限り参加者の自己紹介を歳の大い順にしたあと、入江支部顧問の閉会の挨拶となり「大橋新支部長のもと益々大阪府支部が発展することを祈ります」と激励の言葉でした。最後は、吉川先輩の前口上にて「都ぞ弥生」を参加者全員で斉唱し閉会となりました。

## 北水同窓会 広島県支部会 2022 報告

中山 奈津子(平15海)



写真:後列左から 黒田麻美(平24生資)、羽原浩史(昭55化)、伊藤 淳(平22ゾ)、永井達樹(昭48修漁)  
前列左から 中原幸太郎(平25生資)、長谷川昭雄(昭52ギ)、森岡泰啓(昭38ゾ)、中山奈津子(平15海)

北水同窓会広島県支部会2022が、令和4年11月12日(土)午後5時から、広島駅近くにある瀬戸内の鮮魚旬菜を提供する料理店にて、3年振りに開催されました。

羽原支部長の挨拶および乾杯の音頭で開宴し、支部活動についての報告や参加者8名の近況報告の後、長谷川昭雄氏(昭52ギ)による講演『長谷川昭雄の履歴&職歴』と題して、その愉快的な人生を語っていただきました。

それは、某造船会社で船の開発設計に携わったところから始まり、その後、大手自動車メーカーで生産プロセスの新規開拓等を国内外で成し遂げるなど力戦奮闘する中、現場・現物・現実の「3現主義」の重要性に辿り着き、2001年9月にフレンドリー・スポーツ&ランゲージを自身で立ち上げられたとのことです。以来、広島県内のローカルスポーツ情報について、スポーツをする人・観る人の目線に徹底的にこだわった取材や配信に従事され、他にも英語やスペイン語など語学教室を運営するなど幅広く活動しておられますが、キーワードは一貫して「人の役に立つ」とのことです。

今回は元気な若手3人が加わり、長谷川氏のお話を肴に世代を超えた議論が活発に交わされました。少人数でも大宴会、3年振りの支部会は、話が尽きることなく非常に盛り上がり、あっという間に楽しい時間が過ぎました。英気を養った後は、次年度も同時期に開催すること、次回の話題提供者(題未定、黒田麻美(平24生資))などを決めて、閉会となりました。

## 北水同窓会宮城県支部令和4年度総会が 3年ぶりに11月26日(土)にホテル白萩(仙台市)において開催されました

稲田 真一(平15海)



左から  
1列目  
山岡茂人(昭54ゾ)、佐藤秀雄(昭42ギ)、小池幾世支部長(昭53ギ)、藤本俊彦(昭24セ)、大谷研一(昭39ギ)、落合時三郎(昭49ギ)  
2列目  
君島裕介(平26海生)、稲田真一(平15海)、佐伯光広(平元ギ)、田中宏朗(平7食)、小野寺毅(平2化)、増田雄次郎(平8ギ)

北水同窓会宮城県支部令和4年度総会が令和4年11月26日に仙台市において開催され、12名の出席がありました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年・3年は延期となり、3年ぶりの開催となります。

総会では、小池幾世支部長(昭53ギ)から挨拶があり、事務局から延期となっていた令和元年度から令和3年度の収支決算、役員改選及び会則改正等の議事が提案され、すべて了承されました。

懇親会では、大谷研一先輩(昭39ゾ)の乾杯の音頭で開会となり、各出席者から近況報告が行われました。

今年も同窓会最高齢となる藤本先輩(昭和24セ)の元気な顔を拝顔でき、また、この3年間の近況を互いに報告するなど懇親を深めるとともに、世代を超えた思い出話に花が咲き楽しいひとときを過ごしました。

最後に、肩は組めませんでした。佐伯光広(平元ギ)の前口上で「都ぞ弥生」を全員で歌い、来年度の再会(来年度は参加者50名を目標)を約束し散会となりました。

# 追悼寄稿

## 高野和則先生のご逝去を悼む

竹村 明洋(昭58ゾ)

令和4年2月25日(金)に、私の勤務先である琉球大学理学部の研究室に一本の電話がありました。あいにく私は北海道に出張中で研究室におらず、電話を取った学生から「高野様から電話がありました。」とラインで連絡



をもらいました。その時にはあまり気にも留めていなかったのですが、10日後の3月7日に高野先生の長男である大秋さんから、「2月25日(金)午前6時8分に父が亡くなりました。」とのメールをもらったことで先生のご逝去をはじめて知りました。もし、うまく連絡が取れていたら、北海道出張を途中で取りやめて函館で先生にお会いできたのではないかとの思いが今でもあります。享年85歳でした。

高野先生は、茨城県のお生まれで、昭和32年3月に北海道大学水産学部水産増殖学科をご卒業されました。昭和32年5月に北海道大学水産学部助手に採用された後、昭和45年4月に同講師、そして昭和51年4月から同助教授に昇任されました。平成2年4月に琉球大学に移動され、学内共同利用施設熱帯海洋科学センター教授や全国共同利用施設琉球大学熱帯生物圏研究センター教授を勤められました。平成8年4月からの2年間は熱帯生物圏研究センター長を勤められ、同センターの発展に寄与されました。平成12年3月に琉球大学を定年退職され、同年4月25日に琉球大学名誉教授とられました。沖縄の海を見渡せる今帰仁村内に自宅を購入されることも検討されましたが、定年退職後には函館に戻られました。

北海道大学水産学部にお勤めの頃、高野先生は水産増殖学科淡水増殖学講座で魚類の性分化や性成熟に関わる教育研究に携わっておられました。私が研究室に配属された昭和58年頃には海産魚類の胎生現象にご興味をお持ちであり、組織的な手法を駆使しながら、生殖腺の発達から交尾や体内受精、そして出産にいたる過程について明らかにされ、北海道で栽培漁業の対象魚類となっていたクロソイの種苗生産技術の確立に貢献されました。沖縄に移動されてからは、臨海実験施設であった勤務地の利点を最大限に活かし、サンゴ礁に生息する多様な魚類の生殖現象を網羅的に研究されておりました。

北海道大学から琉球大学に移動されて間もない頃、高野先生に「なぜ、琉球大学に移られたのですか？」とお聞きしたことがあります。高野先生は、「10年一仕事。琉球大学在職中の10年間で、魚類繁殖学に関わる体系だった仕事をしてみたい。」とおっしゃったのが記憶に残っています。当時、琉球大学熱帯海洋科学センターに水産研究を行う教授ポストと講師ポストが純増となり、同センター長であった山里清先生から教授就任の打診があったそうです。しかし、最初は琉球大学への赴任をお断りになることを考えていたそうです。断るつもりで奥様と一緒に沖縄に来られましたが、サンゴ礁生物研究の可能性を強く感じられ、帰りの飛行機では沖縄に来ることを決断されていたとお聞きしております。

高野先生は、北海道の海と沖縄の海をこよなく愛しておられました。先生のご意向で葬儀は行われず、令和4年5月5日に函館湾での散骨を先生のご家族と私で行いました。散骨時には先生が愛された沖縄のサンゴ礁の砂も一緒に撒かせて頂きました。私は、北海道大学での学部から大学院にいたる学生時代と琉球大学に移ってからの助手から助教授/准教授時代の約20年を先生と一緒に過ごさせて頂きました。研究教育の師でもあり人生の師でもあった高野先生のご冥福を、心よりお祈りいたします。

□学位取得者【令和4年度9月取得】

田中 寿臣	ニホンウナギの催熟技術の高度化に関する研究
HO VIET KHOA	Studies on the early physiological responses governing heat stress-inducible gene expression in the red alga <i>Neopyropia yezoensis</i> (スサビノリの高温ストレス誘導性遺伝子発現を司る初期生理応答の研究)

□学位取得者【令和4年度12月取得】

山谷 祥史	ニンニク含硫化合物による魚油の酸化抑制効果に関する研究
-------	-----------------------------

□会員異動

○令和4年9月1日付 採用

栗原 秀幸 大学院水産科学研究院准教授を同教授に採用

○令和4年10月1日付 採用

福田 覚 大学院水産科学研究院教授に採用

## 会員死亡通知

梶原 昌弘(特別会員) 令和4年12月25日	坂岡桂一郎(平元ギ)様より	川口 武(昭36ギ) 令和4年 5月28日	ご家族様より
新井 邦夫(昭17㊦) 平成30年2月25日	小林 哲夫(昭25ゾ)様より	藪田 善一(昭36エ) 令和4年 9月24日	ご家族様より
浜島 清正(昭17㊦) 令和4年 7月16日	ご家族様より	佐々木君男(昭36セ) 令和4年10月 3日	石川 光男(昭36セ)様より
石尾 眞弥(昭19セ) 令和4年 9月 8日	ご家族様より	樋口 譲(昭36セ) 令和4年 7月 5日	ご家族様より
藤井 明(昭23エ) 令和4年 5月 6日	ご家族様より	今村 弘二(昭36ゾ) 令和4年 8月 4日	ご家族様より
黒萩 尚(昭23ゾ) 令和3年 7月 8日	小林 哲夫(昭25ゾ)様より	大友 克浩(昭36ゾ) 令和4年 6月 9日	ご家族様より
田口 一夫(昭25エ) 令和4年 1月 3日	ご家族様より	秋葉 文和(昭37ギ) 令和4年 7月18日	ご家族様より
増田 紀義(昭25エ) 令和4年 5月25日	ご家族様より	河谷 暢也(昭37セ) 令和4年 4月19日	ご家族様より
鈴木 政雄(昭25ゾ) 平成30年1月 6日	小林 哲夫(昭25ゾ)様より	吉永 孝一(昭38エ) 令和4年 4月24日	坂本 浩輔(昭39エ)様より
伊藤 裕三(昭28セ) 令和4年 4月 8日	ご家族様より	高草木 稔(昭38セ) 令和4年12月 3日	ご家族様より
高橋 邦夫(昭28ゾ) 令和3年10月28日	ご家族様より	鉢木 和三(昭38ゾ) 令和3年11月28日	木實谷浩史(昭54ゾ)様より
若浜 三吉(昭29ギ) 令和4年 5月23日	ご家族様より	荒井 暉一(昭42ゾ) 令和元年10月16日	椎原 恒雄(昭42ギ)様より
栗原誠一郎(昭29セ) 令和4年11月	ご家族様より	斉藤 嘉明(昭43ギ) 令和4年12月14日	ご家族様より
吉田 民治(昭30ギ) 令和4年 8月 1日	ご家族様より	山田 秀一(昭43ギ) 令和4年 7月17日	岸本 富男(昭42ギ)様より
木村 邦雄(昭30セ) 令和3年 6月18日	ご家族様より	福地 邦男(昭43化) 令和4年 8月 6日	藤井 真一(昭44エ)様より
加藤 雅夫(昭31セ) 令和4年 8月31日	ご家族様より	川野上貞夫(昭44化) 令和3年12月 3日	ご家族様より
箕田 嵩(昭31ゾ) 令和5年 1月26日	ご家族様より	木本 好昭(昭45食) 令和4年 9月12日	里館 博史(昭45食)様より
菊地 英樹(昭34エ) 令和4年12月13日	米田 義昭(昭34セ)様より	水島 敏博(昭45ゾ) 令和4年 9月 4日	宇藤 均(昭45ゾ)様より
古屋 邦夫(昭34セ) 令和4年 8月27日	ご家族様より	千葉 公郎(昭46ゾ) 令和3年10月23日	ご家族様より
滝川 寿男(昭34ゾ) 令和5年 1月13日	ご家族様より	芳野 恵一(昭49ギ) 令和4年 7月21日	ご家族様より
松村 敏夫(昭35ギ) 令和4年 9月24日	大橋 信英(昭34セ)様より	田村 隆行(昭52化) 令和元年2月15日	ご家族様より
鈴木 昂(昭35エ) 令和3年 2月15日	ご家族様より	藤原 一郎(昭53ギ) 令和4年 6月	梶原 義之(昭53ギ)様より
水木 徹生(昭35セ) 令和4年 7月 7日	ご家族様より	清水 雅人(昭55ギ) 令和2年 3月	西 友夫(昭54ギ)様より
大森 信(昭35ゾ) 令和4年 6月 4日	熊谷 克彦(昭43食)様より	高柳 志朗(昭55ギ) 令和4年 5月16日	釧路支部様より
馬場 久雄(昭35ゾ) 令和4年 2月	ご家族様より	乾 飛鳥(平7食) 令和4年 2月28日	ご家族様より

## 親潮投稿規定

### 【寄稿、支部・会員便り、会員の受賞、ご案内など】

一つの投稿につきA4版・1ページ(2000字程度)までとする。この制限以上の長文あるいは連載を希望される場合は2号分までとする。写真を入れる場合、その分の文字数が減る。また写真はホームページに掲載することもできる。原稿は、同窓会宛に封書で郵送するか、同窓会のメール宛に送付することとする。

### 【同窓生の声】

各種活動や出版物の告知・紹介、本誌への感想など。個人的な連絡は対象とせず、1記事につき300字以内。同窓会あてのメール(hokusuialumni@gmail.com)にて受け付けます。写真は入れられません。

## [ 編集後記 ]

会誌『親潮』320号をお届けします。前号から約半年、新型コロナウイルスの第7波、第8波に襲われながらも水産学部では昨春以来の対面授業を維持しウィズコロナへの道も開けてきた感があります。こうした中、うしお丸三世の竣工と運用の開始、未来人材育成館の建設に向けた工事の開始など学部の発展につながる大きな変化もありました。また、同窓会では、記念すべき第100回定期総会が北大ホームカミングデーの行事と合わせて水産学部大講義室で盛大に執り行われました。

これらの目出度いイベントの報告を兼ねて、今号の特集①ではうしお丸三世の竣工式、スペック、建造経過の最終報告、使用感などについて向井先生、高津先生、小林一等航海士にお願いして4件の寄稿をいただきました。また、特集②では『親潮』初出となる未来人材育成館を取り上げ、計画に深く携わる図書委員長の澤辺先生から概要を完成予想図とともに紹介いただきました。

定期総会の報告は例年ですと夏季刊行の年度第1号に掲載されますが、今年度は9月開催となったため今号への掲載となりました。また、ここ2年ほどはほとんど見る事のなかった支部会・クラス会報告に3件の寄稿があり支部や会員どうしの活動も再開の兆しを感じることができました。定番の記事にこれらを加えて今号は久しぶりにフル規格の32ページでのお届けとなりました。『親潮』では種々の報告や案内のほかにも、今回は無かった書評、趣味の話題、俳句、短歌、文芸といった様々な寄稿をお待ちしております。

次号『親潮』令和5年度第1号(通算321号)の原稿の締め切りは2023年7月10日(必着)とさせていただきます。寄稿につきましては、郵送もしくは電子メール(hokusuialumni@gmail.com)にて受け付けております。支部会報告や同期会報告、著書の紹介など、多くの原稿をご投稿下さいますようお願い申し上げます。なお、親潮では同窓の方々の交流形態として「同窓生の声」の広場を設けております。また、本誌に対するご意見やご感想なども募集しております。詳しくは上段の投稿規定をご参照下さい。

また、支部総会や同期会の開催時の写真や開催案内を北水同窓会のホームページ(<http://hokusui.net/>)に掲載しておりますので、是非ご覧ください。

編集幹事/安藤 靖浩(昭63化)

令和5年3月発行  
北水同窓会  
〒041-8611 函館市港町3-1-1  
TEL & FAX.0138-42-3681  
E-mail:hokusuialumni@gmail.com



# つる はち 株式会社 釣 八

URL <http://www.tsuru8.co.jp/>

よく間違えられますが、「つるはち」って読みます。

社長の名前が「つるみ」だから。

世界中の海から、イカ、赤魚、サバ等なじみのある水産物を、

いま、求められるかたちにして、お届けできるように奮闘努力刻苦勉強

代表取締役社長 釣見 泰之 (昭和59年 漁業学科卒)

【水産学部卒業社員】 土井 倫行 (昭和60年卒) 倉部 徹 (昭和60年卒)

## 本社

〒104-0042 東京都中央区入船3-8-7 ザ・ロワイヤルビル2F

TEL03-3297-8883 FAX03-3297-8885

八戸支店 〒031-0082 青森県八戸市常海町13-2 サンデュエル内丸1203 TEL 0178-71-3488

銚子支店 〒288-0041 千葉県銚子市中央町9-16 中央町ビル3F TEL 0479-25-8822

大阪支店 〒553-0001 大阪府大阪市福島区海老江2-2-5 SYDビル301 TEL 06-6131-8418

福岡支店 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-18-28 フクオカZビル 7F TEL 092-401-8828

## 関連会社

(株)釣十 (豊洲 / マグロ仲卸) (株)いかめし阿部商店 札幌蟹販株式会社

大連釣八 (中国 / 水産物加工) フィッシングエイト (US/LA)

人工魚礁による水産資源の保護・増殖に貢献します

## 海洋土木株式会社

〒142-0043 東京都品川区二葉 2-1 1-5

代表取締役 木實谷浩史 (54才)

取締役副社長 石井直志 (49才)

専務取締役 幡宮輝雄 (57才)

青森営業所長 山口伸治 (49才)

北陸営業所長 魚住昭文 (52才)



FP魚礁



カルペース付き  
FP 1.5.G



オクトム

余市 エゾメバル幼魚

鬼脇 ホッケ



積丹 メバル・クロソイ

稲穂 ミズダコ



## 株式会社 竹田食品

代表取締役 竹田 寿広

営業所：札幌・東京・大阪・福岡

本社工場：北海道函館市浅野町3番10号

TEL：(0138)43-1110(代)

HP：<https://takeda.hakodate.jp/>

交通事故、労働災害、医療過誤、倒産、債務整理、サラ金破産  
個人再生、未払い残業代請求、離婚、相続、遺言、成年後見

相談料は全て無料です

# 吉原法律事務所

札幌弁護士会 弁護士 吉原美智世  
(昭和48年増殖学科卒業)

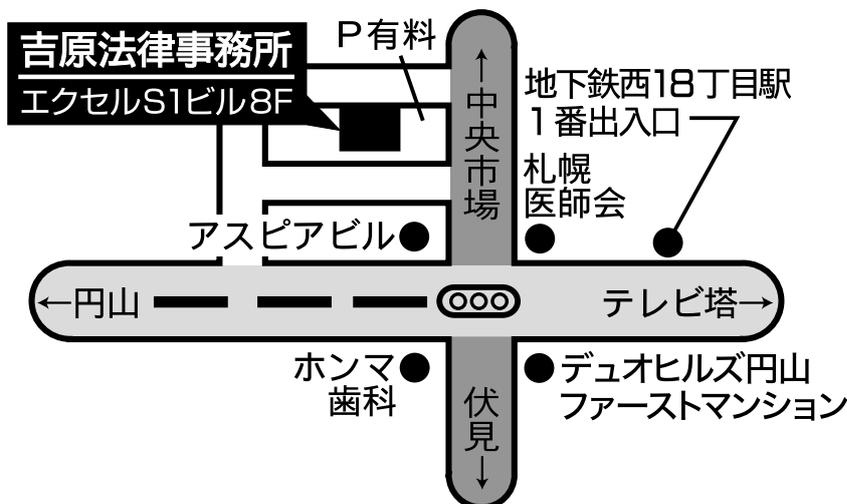
お気軽にお問い合わせ下さい

**TEL 622-7963 FAX 622-8414**

札幌市中央区大通西20丁目2-20(エクセルS1ビル8F)

(交通) 東西線西18丁目地下鉄1番出口

(E-mail) [lawyer@yoshihara-lawoffice.jp](mailto:lawyer@yoshihara-lawoffice.jp)



営業時間においでになれない方はご相談下さい。